



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成26年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.com/JP/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 黒江 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	78,943	32.4	6,392	—	8,017	—	4,585	—
26年3月期第2四半期	59,638	△17.8	△7,994	—	△7,387	—	△9,339	—

(注) 四半期包括利益 27年3月期第2四半期 11,407百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △3,545百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	26.32	23.79
26年3月期第2四半期	△53.65	△53.65

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	249,821	126,791	126,791	50.8
26年3月期	229,856	116,252	116,252	50.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	152,000	35.9	12,000	—	13,700	—	8,000	—	45.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	199,566,770 株	26年3月期	199,566,770 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	25,367,391 株	26年3月期	25,368,828 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	174,189,320 株	26年3月期2Q	174,072,271 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用	P. 4
3. 四半期連結財務諸表等	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 四半期連結包括利益計算書	P. 9
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報)	P. 11

〈添付資料〉

2014 年度第 2 四半期 決算（連結）の概要	P. 13
--------------------------	-------

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)の状況 (単位: 億円)

	2014年3月期 第2四半期連結累計期間	2015年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	609	874	43.6%
売上高	596	789	32.4%
営業利益	△80	64	—
税引前四半期純利益	△74	80	—
四半期純利益	△93	46	—

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済においては堅調な回復軌道を維持しましたが、欧州では経済活動の減速傾向が続きました。中国など新興国諸国は、引き続き世界経済成長の牽引役であるものの、成長に鈍化が見られました。日本経済は、消費税増税に伴う景気の落ち込みから緩やかな回復を続けました。

半導体関連市場においては、2013年末に中国でLTEサービスが開始されたことを契機として、中国向けLTEスマートフォンに搭載される半導体需要が増加したほか、ハイエンド・スマートフォン新製品用の半導体生産が本格化したことで、生産能力増強に向けた設備投資が半導体メーカー各社で活発に進展しました。

このような事業環境のなか、当社はスマートフォン用半導体向けを中心に事業の伸長に努めました。その結果、受注高は874億円(前年同期比43.6%増)、売上高は789億円(同32.4%増)となりました。前年同期比での増収に加え、採算性の高い製品の売上比率が向上したことなどにより損益面は大きく改善し、営業利益は64億円、税引前四半期純利益は80億円、四半期純利益は46億円となりました。海外売上比率は92.8%(前年同期90.5%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位: 億円)

	2014年3月期 第2四半期連結累計期間	2015年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	393	639	62.6%
売上高	413	550	33.1%
営業利益	△38	79	—

当部門では、中国でのLTE基地局増設、中国市場向けスマートフォンの増産、新型ハイエンド・スマートフォンの販売開始などが半導体需要を喚起したことを背景に、非メモリ半導体用テスト「V93000」の販売が好調に推移しました。MPU向けのテストシステム需要も伸びたほか、メモリ半導体用テストシステムにも底堅い需要が集まりました。

以上により、当部門の受注高は639億円(前年同期比62.6%増)、売上高は550億円(同33.1%増)、営業利益は79億円となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2014年3月期 第2四半期連結累計期間	2015年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	93	119	27.5%
売上高	68	111	63.5%
営業利益	△25	7	—

当部門では、半導体テストシステムの需要増に呼応して、事業連動性が高いデバイス・インタフェースやテスト・ハンドラに対する需要が伸びました。また半導体微細化の進展に伴うナノテクノロジー製品需要の伸びを着実に取り込みました。

以上により、当部門の受注高は119億円(前年同期比27.5%増)、売上高は111億円(同63.5%増)、営業利益は7億円となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2014年3月期 第2四半期連結累計期間	2015年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	124	117	△5.5%
売上高	116	129	11.0%
営業利益	12	16	33.8%

当部門では、リース需要の伸び悩みなどで受注高が前年同期を下回りましたが、フィールドサービス事業の収益向上に向けた取り組みが順調に進捗しました。

以上により、当部門の受注高は117億円(前年同期比5.5%減)、売上高は129億円(同11.0%増)、営業利益は16億円(同33.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前年度末比200億円増加し、2,498億円となりました。この主な要因は、現金および現金同等物、売上債権が、それぞれ145億円および54億円増加したことなどによります。負債合計は主に買掛金、未払費用および未払法人税等がそれぞれ33億円、28億円および27億円増加したことなどにより、前年度末比94億円増加し、1,230億円となりました。また、株主資本は1,268億円となり、株主資本比率は前年度末比0.2ポイント増加し、50.8%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より145億円増加し、835億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益46億円を計上したことに加え、未払法人税等の増加(30億円)、未払費用の増加(27億円)および売上債権の増加(△38億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、134億円の収入(前年同期は、34億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億円の支出(前年同期は、40億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の購入(△15億円)および売却可能有価証券の売却による収入(16億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億円の支出(前年同期は、12億円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払(△8億円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

スマートフォンの低価格化、LTE対応、高性能化、およびそれらに伴うスマートフォンの世界的な普及が、今後も半導体関連市場の成長を牽引するものと予測されます。この流れに沿って、非メモリ半導体、メモリ半導体のいずれも堅調な市場成長が予想されていることから、半導体メーカー各社における当社テストシステムへの需要も一定水準が維持されるものと想定しています。

当社は、2013年度より進めている2つの構造転換、ひとつは外部環境の変化に左右されず確実に利益を創出できるコスト構造への転換、もうひとつは経営資源を成長市場へ機動的に移す事業構造の転換、これらの構造転換を確実なものとし、一層の収益基盤強化と高収益体質への変革を図ります。

通期連結業績予想については、テスト需要の底堅さを踏まえ、2014年7月に開示した売上高を1,450億円から1,520億円に見直し、営業利益は100億円から120億円に変更しました。税引前当期純利益は営業外損益の第2四半期連結累計実績に基づき100億円から137億円に見直し、当期純利益は75億円から80億円にそれぞれ変更しました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
資産の部		
現金および現金同等物	68,997	83,503
売上債権（貸倒引当金控除後）	20,404	25,794
棚卸資産	30,200	30,476
その他の流動資産	5,218	4,397
流動資産合計	124,819	144,170
投資有価証券	3,741	2,423
有形固定資産（純額）	39,925	38,903
無形資産（純額）	3,545	3,430
のれん	46,846	49,777
その他の資産	10,980	11,118
資産合計	229,856	249,821

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
負債の部		
買掛金	12,353	15,613
未払費用	6,775	9,583
未払法人税等	1,089	3,741
製品保証引当金	1,589	1,492
1年以内償還社債	-	10,000
前受金	2,488	2,996
その他の流動負債	2,313	3,368
流動負債合計	26,607	46,793
社債	25,000	15,000
転換社債	30,149	30,134
未払退職および年金費用	28,641	28,714
その他の固定負債	3,207	2,389
負債合計	113,604	123,030
契約債務および偶発債務		
資本の部		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	43,906	43,895
利益剰余金	130,740	134,387
その他の包括利益累計額	5,326	12,148
自己株式	△ 96,083	△ 96,002
資本合計	116,252	126,791
負債および資本合計	229,856	249,821

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)
売上高	59,638	78,943
売上原価	30,793	35,697
売上総利益	28,845	43,246
研究開発費	17,408	15,022
販売費および一般管理費	19,431	21,832
営業利益 (△損失)	△ 7,994	6,392
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	100	88
支払利息	△ 70	△ 68
投資有価証券売却益	576	559
その他	1	1,046
その他収益 (△その他費用) 合計	607	1,625
税引前四半期純利益 (△損失)	△ 7,387	8,017
法人税等	1,954	3,432
持分法投資利益	2	-
四半期純利益 (△損失)	△ 9,339	4,585

(単位：円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	△ 53.65	26.32
希薄化後	△ 53.65	23.79

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2013年7月 1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2014年7月 1日 至 2014年9月30日)
売上高	29,548	42,114
売上原価	15,995	19,119
売上総利益	13,553	22,995
研究開発費	8,688	7,641
販売費および一般管理費	9,543	11,364
営業利益 (△損失)	△ 4,678	3,990
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	24	29
支払利息	△ 36	△ 34
投資有価証券売却益	84	-
その他	64	840
その他収益 (△その他費用) 合計	136	835
税引前四半期純利益 (△損失)	△ 4,542	4,825
法人税等	1,156	1,579
四半期純利益 (△損失)	△ 5,698	3,246

(単位：円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2013年7月 1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2014年7月 1日 至 2014年9月30日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	△ 32.71	18.64
希薄化後	△ 32.71	16.85

(3) 四半期連結包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)
四半期純利益 (△損失)	△ 9,339	4,585
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整額	5,719	6,661
純未実現有価証券評価損益	△ 296	△ 371
年金債務調整	371	532
その他の包括利益 (△損失) 合計	5,794	6,822
四半期包括利益 (△損失)	△ 3,545	11,407

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2013年7月 1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2014年7月 1日 至 2014年9月30日)
四半期純利益 (△損失)	△ 5,698	3,246
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	△ 247	8,727
純未実現有価証券評価損益	△ 480	△ 116
年金債務調整	252	252
その他の包括利益 (△損失) 合計	△ 475	8,863
四半期包括利益 (△損失)	△ 6,173	12,109

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益(△損失)	△ 9,339	4,585
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	4,573	2,514
繰延法人税等	203	△ 337
ストック・オプションによる報酬費用	438	—
投資有価証券売却益	△ 576	△ 559
売上債権の増減(△増加)	7,129	△ 3,828
未収入金の増減(△増加)	△ 131	733
棚卸資産の増減 (△増加)	△ 697	506
買掛金の増減(△減少)	1,542	2,398
未払金の増減(△減少)	34	422
未払費用の増減 (△減少)	△ 23	2,712
未払法人税等の増減 (△減少)	△ 265	2,975
製品保証引当金の増減 (△減少)	△ 18	△ 127
前受金の増減 (△減少)	△ 285	494
未払退職および年金費用の増減 (△減少)	839	247
その他	△ 44	657
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	3,380	13,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能有価証券の売却による収入	943	1,557
子会社買収額 (取得現金控除後)	△ 1,168	—
有形固定資産の購入額	△ 3,521	△ 1,497
無形資産の購入額	△ 465	△ 249
その他	255	47
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 3,956	△ 142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△ 1,734	△ 845
その他	503	36
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,231	△ 809
現金および現金同等物に係る換算差額	1,911	2,065
現金および現金同等物の純増減額 (△減少)	104	14,506
現金および現金同等物の期首残高	45,668	68,997
現金および現金同等物の四半期末残高	45,772	83,503

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

単位：百万円

前第2四半期連結累計期間

(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	41,213	6,787	11,638	-	59,638
セグメント間の内部売上高	91	-	-	△ 91	-
売上高	41,304	6,787	11,638	△ 91	59,638
調整前営業利益 (△損失)	△ 3,785	△ 2,488	1,172	△ 2,455	△ 7,556
(調整) ストック・オプション費用					438
営業利益 (△損失)					△ 7,994

単位：百万円

当第2四半期連結累計期間

(自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	54,925	11,100	12,918	-	78,943
セグメント間の内部売上高	66	-	-	△ 66	-
売上高	54,991	11,100	12,918	△ 66	78,943
調整前営業利益 (△損失)	7,904	714	1,568	△ 3,794	6,392
(調整) ストック・オプション費用					-
営業利益 (△損失)					6,392

単位：百万円

前第2四半期連結会計期間

(自 2013年7月1日 至 2013年9月30日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	20,274	3,265	6,009	-	29,548
セグメント間の内部売上高	16	-	-	△ 16	-
売上高	20,290	3,265	6,009	△ 16	29,548
調整前営業利益 (△損失)	△ 2,525	△ 1,123	791	△ 1,383	△ 4,240
(調整) ストック・オプション費用					438
営業利益 (△損失)					△ 4,678

単位：百万円

当第2四半期連結会計期間

(自 2014年7月1日 至 2014年9月30日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	28,881	6,307	6,926	-	42,114
セグメント間の内部売上高	66	-	-	△ 66	-
売上高	28,947	6,307	6,926	△ 66	42,114
調整前営業利益 (△損失)	4,786	559	940	△ 2,295	3,990
(調整) ストック・オプション費用					-
営業利益 (△損失)					3,990

(注) 1. 全社に含まれる営業利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

2014年度第2四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2013年度 実績	2014年度実績					2014年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	1,274	492	382	Δ22.4%	874	43.6%	(1,470) 1,550	21.7%
受注残	320	444	404	Δ8.9%	404	128.5%	(340) 350	9.4%

(注)二段書きの上段は、2014年7月24日発表時の予想です。

2. 損益

(単位:億円)

	2013年度 実績	2014年度実績					2014年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	1,119	368	421	14.4%	(750) 789	32.4%	(1,450) 1,520	35.9%
売上原価	626	165	192	15.3%	357	15.9%	-	-
研究開発費	327	74	76	3.5%	150	Δ13.7%	-	-
販売費および一般管理費	399	105	113	8.6%	218	12.3%	-	-
減損費用	131	-	-	-	-	-	-	-
営業利益 (売上高比率)	Δ364 (Δ32.5%)	24 (6.5%)	40 (9.5%)	66.1%	(54) 64 (8.1%)	-	(100) 120 (7.9%)	-
営業外損益	9	8	8	5.8%	16	167.7%	-	-
税引前当期純利益 (売上高比率)	Δ355 (Δ31.7%)	32 (8.7%)	48 (11.5%)	51.2%	80 (10.2%)	-	(100) 137 (9.0%)	-
法人税等	0	19	15	Δ14.8%	34	75.9%	-	-
当期純利益 (売上高比率)	Δ355 (Δ31.8%)	13 (3.6%)	33 (7.7%)	142.5%	46 (5.8%)	-	(75) 80 (5.3%)	-

(注)二段書きの上段は、2014年7月24日発表時の予想です。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2013年度 実績	2014年度実績		
		4Q末	1Q末	2Q末
総資産	2,299	2,322	2,498	7.6%
株主資本	1,163	1,147	1,268	10.6%
株主資本比率	50.6%	49.4%	50.8%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2013年度			2014年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	10.00	5.00	15.00	5.00	5.00	10.00